

平成26年3月 東京地区百貨店売上高概況

平成26年4月17日

I. 概況

1. 売上高総額	1,716億円余
2. 前年同月比	25.5% (店舗数調整後/8か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭26.6%(89.9%) : 非店頭16.5%(10.1%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成26年2月対比±0店)
5. 総店舗面積	871,395㎡ (前年同月比:-4.3%)
6. 総従業員数	18,740人 (前年同月比:2.1%)
7. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	8-10月 3.3%、9-11月 2.9%、10-12月 3.0%、 11-1月 4.2%、12-2月 4.2%、1-3月 12.3%

[参考] 平成25年3月の売上高増減率は6.4% (店舗数調整後)

【3月売上の特徴】

- (1) 東京地区の売上高伸び率は、これまで全国を1%~3%弱上回る水準で推移してきたが、当月は、主要10都市の多くで駆け込み需要が東京より強く現れたことから、結果的に全国平均(+25.4%)とほぼ並ぶ水準に落ち着いたことが特徴となっている。
- (2) 商品別でも、全国同様に全品目で前年同月を上回り、品目毎の伸び率も全国とほぼ同様の傾向を示したことが特徴となっている。特選ブランド(身のまわり品:+31.8%)や美術・宝飾・貴金属(+103.3%)、呉服・高級寝具(その他衣料品:+68.7%)などの高額商材が極めて高い伸びを記録した他、化粧品(+64.4%)や家庭用品(+41.3%)も大幅増で推移した。
- (3) 高額商材とは対照的に、デイリー商材の食料品(+4.0%)については大きな駆け込み需要もなく堅調な動きであったが、ワインやグローサリーなどの一部アイテムでまとめ買いの傾向も見られた。
- (4) 季節催事のホワイトデー商戦は、2月のバレンタイン商戦が好調であったことに連動して、多くの店が二桁増を記録するなど活況であった。
- (5) 東京地区の4月中間段階(4月14日)までの商況は、前年を15%程度下回る水準で推移しているが、日を追う毎に減少幅は縮小している。また、銀座地区や新宿地区の店舗では訪日外国人売上の急伸が下支え要素となっている。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
①増加した:14店、②変化なし:3店、③減少した:2店
- (3) 3月歳時記(ひな祭り、ホワイトデー、卒業・入学、新生活)の売上 (同上/有効回答数12店舗)
①増加した:6店、②変化なし:5店、③減少した:1店

東京地区百貨店 売上高速報 2014年03月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	171,680,467	100.0	25.5 (24.6)
紳士服・洋品	13,096,514	7.6	18.1 (17.5)
婦人服・洋品	33,968,322	19.8	14.1 (12.9)
子供服・洋品	6,312,027	3.7	18.4 (18.3)
その他衣料品	3,990,239	2.3	68.7 (67.5)
衣 料 品	57,367,102	33.4	18.1 (17.2)
身のまわり品	25,037,764	14.6	31.8 (30.9)
化粧品	12,257,569	7.1	64.4 (64.1)
美術・宝飾・貴金属	16,404,970	9.6	103.3 (102.5)
その他雑貨	8,039,929	4.7	20.2 (19.9)
雑 貨	36,702,468	21.4	65.2 (64.8)
家具	3,609,682	2.1	68.3 (63.9)
家電	1,159,506	0.7	42.7
その他家庭用品	5,605,978	3.3	27.8 (27.4)
家 庭 用 品	10,375,166	6.0	41.3 (39.9)
生 鮮 食 品	4,813,786	2.8	3.6 (3.0)
菓 子	11,120,981	6.5	4.9 (4.0)
惣 菜	6,736,267	3.9	2.7 (1.9)
その他食料品	8,988,819	5.2	4.1 (3.7)
食 料 品	31,659,853	18.4	4.0 (3.3)
食 堂 喫 茶	3,457,394	2.0	2.1 (1.4)
サ ー ビ ス	2,935,793	1.7	26.4
そ の 他	4,144,927	2.4	17.3 (13.5)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

※

商品券	3,386,435 千円	-5.5 (-6.1)
従業員数	18,740 人	2.1
店舗面積	871,395 m ²	-4.3

営業日数	31.0 日	前年	31.0 日
------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が13か月連続、身のまわり品が8か月連続、家庭用品が5か月連続、衣料品が2か月ぶり、食料品が6か月ぶりのプラスと、9か月ぶりに全品目がプラスとなった。また、全国同様、美術・宝飾・貴金属が三桁のプラス、食料品の各品目は一桁のプラスとなったが、その他の品目は二桁プラスと、全アイテムがプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	25.5	—	8か月連続プラス
紳士服・洋品	18.1	1.5	2か月ぶりプラス
婦人服・洋品	14.1	3.1	2か月ぶりプラス
子供服・洋品	18.4	0.7	6か月ぶりプラス
その他衣料品	68.7	1.2	5か月連続プラス
衣料品	18.1	6.4	2か月ぶりプラス
身のまわり品	31.8	4.4	8か月連続プラス
化粧品	64.4	3.5	20か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	103.3	6.1	15か月連続プラス*
その他雑貨	20.2	1.0	2か月連続プラス*
雑貨	65.2	10.6	13か月連続プラス
家具	68.3	1.1	5か月連続プラス
家電	42.7	0.3	2か月連続プラス
その他家庭用品	27.8	0.9	4か月連続プラス
家庭用品	41.3	2.2	5か月連続プラス
生鮮食品	3.6	0.1	2か月連続プラス*
菓子	4.9	0.4	2か月ぶりプラス*
惣菜	2.7	0.1	7か月ぶりプラス*
その他食料品	4.1	0.3	2か月連続プラス*
食料品	4.0	0.9	6か月ぶりプラス
食堂喫茶	2.1	0.1	2か月ぶりプラス
サービス	26.4	0.4	4か月連続プラス
その他	17.3	0.4	3か月連続プラス
商品券	-5.5	-0.1	35か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・西田まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>